



# **Workflow Automation**

## **をインストールするための前提条件**

### **OnCommand Workflow Automation 5.0**

NetApp  
April 19, 2024

# 目次

Workflow Automation をインストールするための前提条件.....	1
必要な設定情報 .....	1
CentOS および RHEL に Perl モジュールをインストールします.....	2

# Workflow Automation をインストールするための前提条件

OnCommand Workflow Automation (WFA) をインストールする前に、必要な情報を入力し、特定の作業を完了しておく必要があります。

システムに WFA をインストールする前に、次の作業を完了しておく必要があります。

- ネットアップサポートサイトから WFA インストールファイルをダウンロードし、WFA をインストールするサーバにファイルをコピーします



ネットアップサポートサイトにログインするための有効なクレデンシャルが必要です。有効なクレデンシャルがない場合は、ネットアップサポートサイトに登録してクレデンシャルを取得できます。


- 必要に応じて、システムが次の機能にアクセスできることを確認します。
  - ストレージコントローラ
  - Active IQ データセンターマネージャー



Secure Shell (SSH) を使用したアクセスが必要な環境の場合は、ターゲットコントローラで SSH を有効にする必要があります。

- Perl v5.10.1 がインストールされていることを確認します

## 必要な設定情報

ユニットまたはシステム	詳細	目的
アレイ	<ul style="list-style-type: none"><li>• IP アドレス</li><li>• ユーザ名とパスワード</li></ul>	ストレージシステム上で操作を実行します   ストレージ (アレイ) には root または admin アカウントのクレデンシャルが必要です。
OnCommand Balance データベースやカスタムデータベースなどの外部リポジトリ	<ul style="list-style-type: none"><li>• IP アドレス</li><li>• 読み取り専用ユーザアカウントのユーザ名とパスワード</li></ul>	データを取得  外部リポジトリからデータを取得するには、外部リポジトリのディクショナリエントリやキャッシュクエリなど、関連する WFA コンテンツを作成する必要があります。

ユニットまたはシステム	詳細	目的
メールサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレス</li> <li>• ユーザ名とパスワード</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>メールサーバで認証が必要な場合は、ユーザ名とパスワードが必要です。</p> </div>	WFA 通知を E メールで受信
AutoSupport サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メールホスト</li> </ul>	<p>SMTP 経由で AutoSupport メッセージを送信する</p> <p>メールホストが設定されていない場合は、HTTP または HTTPS を使用して AutoSupport メッセージを送信できます。</p>
Microsoft Active Directory (AD) LDAP サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレス</li> <li>• ユーザ名とパスワード</li> <li>• グループ名</li> </ul>	AD LDAP または AD LDAPS を使用して認証と許可を行います
SNMP 管理アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレス</li> <li>• ポート</li> </ul>	WFA の SNMP 通知の受信
syslog サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレス</li> </ul>	ログデータを送信します

• 関連情報 \*

["ネットアップサポート"](#)

## CentOS および RHEL に Perl モジュールをインストールします

一部の Perl モジュールは、Linux 用 Perl パッケージにデフォルトでは含まれていません。

このタスクについて

WFA のインストール時に、WFA インストーラはシステム内のすべての Perl モジュールが使用可能であることを検証し、その要件が満たされた場合に処理を続行します。OnCommand Workflow Automation (WFA) をインストールする前に、Perl モジュールをインストールする必要があります。



システムで設定された yum リポジトリで Perl モジュールが使用可能な場合、WFA インストーラは Perl モジュールのインストールを自動的に試行します。Perl モジュールがない場合は、ユーザーに Perl モジュールを手動でインストールするように求められます。唯一の例外は、「perl-core」モジュールです。このモジュールは、システムに設定されている yum リポジトリで使用可能な場合でも、システムに自動的にインストールされません。これは問題と呼ばれています。

• 表 1 : WFA に必要な Perl モジュール \*

Perl モジュール	RPM パッケージ名
Perl コアモジュール	Perl - コア
DBI	dBi あたり
XML::DOM	PERLG-XML-dom
用語：： ReadKey	Perl - TermReadKey
HTTP: 要求	perl-libwww-perl
XML::libxml perl-xml-libxml	PERLG-XML-libxml
DBD::mysql	Perl - DBD - MySQL
uri::url	Perl URI
HTTP: 応答	perl-libwww-perl
HTTP: ヘッダー	perl-libwww-perl
ネット： SSLeay	Perl - Net-SSLeay
URI::Escape	Perl URI
LWP::Protocol::https perl-LWP-Protocol-https	Perl - LWP-Protocol-https
XML::Parser	Perl - XML - 解析ツール
LWP::UserAgent	perl-libwww-perl
net : LDAP	Perl - LDAP
日付：：計算	Perl - 日付 - CalcXML

## 手順

1. Linux サーバに root ユーザとしてログインします
2. WFA に必要なすべての Perl モジュールがシステムにインストールされていることを確認します。

```
WFA-4.2.0.0.bin -l
```

3. Perl モジュールが検出されない場合は、設定したリポジトリで使用できるかどうかを確認します。

```
yum search Perl - モジュール名
```

◦ 例 \*

「DBD::mysql」モジュールが検出されない場合は、次の手順を実行します。

```
yum search perl -dbd-mysql
```

4. リポジトリに Perl モジュールがない場合は、Perl モジュールを含むリポジトリを設定するか、インターネットから Perl モジュールをダウンロードします。
5. 設定済みのリポジトリに不足している Perl モジュールをインストールします。

```
yum-y install Perl - module-name
```

◦ 例 \*

構成されたリポジトリから 'DBD::mysql' モジュールをインストールします

```
yum-y install perl - DBD - mysql`
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。